

2024年8月6日

マルハニチロAQUA社へセイカダイヤエンジン開発の電気推進船を貸与  
養殖場での脱炭素化への実証試験に協力

セイカダイヤエンジン株式会社（本社：東京都新宿区/取締役社長：柴崎 亨、以下「セイカダイヤエンジン」）は、マルハニチログループである株式会社マルハニチロAQUA（本社：鹿児島県鹿児島市/取締役社長：藤田 耕太郎、以下「マルハニチロAQUA社」）へ自社開発の電気推進船（以下、EV船<sup>\*1</sup>）を貸与し、マルハニチログループの掲げる気候変動問題への対応の一環である「養殖場におけるCO<sub>2</sub>排出量削減」に向け、連携することで一致しました。



マルハニチログループは、2030年度までにCO<sub>2</sub>排出量30%削減（2017年度比）を目標に掲げており、各事業所などで太陽光パネルの設置等様々な施策に取り組んでいます。このような中、マルハニチロAQUA桜島事業所では、養殖場の巡回や視察等に運航する船舶を従来のディーゼル船ではなく、電気で100%の動力源を確保し推進するEV船に切り替え、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組めます。合わせて、セイカダイヤエンジンは、昨年8月に資本業務提携したエイトノット社の自律航行システムAI CAPTAIN<sup>\*2</sup>を本EV船に装備し、水産事業者が直面する安全性に関する課題の解決、将来更なる深刻化が予想される船員不足といった問題解決に向け取り組んでいるところです。今後も弊社では、マルハニチロAQUA社と緊密に連携し、養殖場におけるEV船運用に関する課題等を洗い出し、脱炭素、省人・省力化に寄与すべく更なる利活用に向けて、継続的な開発に取り組んで参ります。

## \*1【EV船『EV-ZERO』概要】

- ・船体サイズ：全長 7.7 m × 全幅 2.6 m × 全深 1.18 m（総トン数 3.6 t）
- ・モーター出力：48 kW（船内機）
- ・リチウム電池容量：36 kW リン酸鉄リチウムイオン電池
- ・定員：8名



## \*2『エイトノット AI CAPTAIN（エーアイキャプテン）』

AIが自動で最適なルートを設定し、目的地まで安全に自律航行するシステムで、障害物センサー（カメラ、3D-LiDAR）とアンテナ類（位置情報・他船情報）を用いて他船や流木などの障害物を3次元で検出し、制御ユニットが対象に応じて適切に回避・避航操船を行う。

&lt;お問い合わせ先&gt;

経営戦略部

営業戦略グループ

TEL : 03-5937-0432

URL) <https://www.daiyaeng.co.jp>

以上